

イスラエル経済月報(2017年8月)

在イスラエル日本国大使館 (担当: 経済班 松本理恵)

<目次>

イスラエルの動き (主な報道)	2
主要経済指標.....	5
1. 経済成長率 (GDP)	
2. 消費者物価指数 (CPI)	
3. 貿易 (Export & Import of Goods)	
4. 失業率推移 (Unemployment rate)	
5. 為替推移	
6. 公定歩合 (interest rate)	
7. 外貨準備高 (foreign reserve)	
8. 主要株価推移 (TA35)	
日本-イスラエル 経済関係.....	10
ルノー・日産, イスラエルにインキュベーションセンター (8日)	
デンソー, 車両安全システムにタワージャズ社技術を採用 (14日)	
JST とイスラエル科学技術省, 共同研究課題を募集中 (再掲)	
ダイドー, イスラエル大手スーパーのPB缶コーラ製造 (30日)	
展示会・国際会議の今後の予定.....	12
スタートアップ DLD Tel Aviv (9月3~7日, テルアビブ)	
医療 MHEALTH Israel (9月11~15日, エルサレム等各地)	
テロ対策 ICT World Summit (9月11~14日, ヘルツェリア)	
水技術 watec 2017 (9月12~14日, テルアビブ)	
スポーツ技術 APCST (10月15~19日, テルアビブ)	
セキュリティ NexTech 2017 (10月18日, ベエルシェバ)	
医療 CAST (10月22~23日, テルアビブ)	
医療機器 IDAN (10月24~26日, テルアビブ)	
医療 RCINGSCM (10月31日~11月1日, ヘルツェリア)	
産業技術 technology2017 (10月31日~11月2日, テルアビブ)	
環境 DDD 2017 (11月6-9日, ベエルシェバ)	
医療 イスラエル麻酔学会国際会議 (11月7~8日, テルアビブ)	
無人機 UVID 2017 (11月9日, エアポート・シティ)	
空調設備 ACLIMA (11月7~9日, テルアビブ)	
家具 TIMBER 2017 (11月21~23日, テルアビブ)	
食・サービス Food & Hospitality Week (11月28~30日, テルアビブ)	
ライフサイエンス ヘルスケア技術革新 (12月3~6日)	
医療 ICI 2017 (12月3~5日, テルアビブ)	
都市 MUNI EXPO (2018年2月13~14日, テルアビブ)	
医療 国際 ADHD 会議 (2018年3月19~21日, テルアビブ)	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 ミズラヒ・テファホット銀行が、国内6位のユニオン銀行買収を検討中と発表した。株の75%を、市場価格に10%のプレミアを乗せた14億シエケルで買い取る。
- 1日 第2四半期のプライベートイクイティ投資は低調。19件4億1,200万ドルで、過去3年の平均(24件)を21%下回る水準。2017上半期で見ても過去3年で最低。
- 2日 改訂された南部都市計画によれば、ベエルシェバの人口が、2030年までに34万人になるとの予測。同計画は、1970年に策定された50年計画を置き換えるもの。
- 2日 当地服飾小売カストロ社が、国内各地のアズリエリモール内15店舗のうち5店舗を今後1年半で閉鎖する。賃貸料が高く、リース更新の折り合いがつかなかった。
- 2日 ハイファケミカル社が、南北の2工場を閉鎖し、従業員800人をレイオフする。アンモニア漏洩事故で、同社は生産をストップしていた。従業員は抗議行動を予定。
- 3日 2021年開業のテルアビブライトレール(Red Line)の運営、イスラエル Egged 社と深圳メトロ、中国 CCECC のグループが落札。他の2者も中国企業を含むグループ。
- 3日 南部沿岸のドラッド発電所が、カリッシュ・タニン天然ガス田との供給契約を決めた。供給は2020年第4四半期に始まり、14年間で5.5BCMのガスが供給される。
- 3日 中国人労働者2万人がイスラエル建設業の試験に応募。うち6千人が雇用される。数年にわたり中国政府は労働者派遣を拒否してきたが、4カ月前に合意に至った。
- 6日 格付機関 S&P は、イスラエルの格付見通しを「中立」から「ポジティブ」に変更。これは、6-24カ月以内に格付（現在 A+）を引き上げる可能性を示している。
- 6日 最高裁は、議論を呼んでいた「3件目以降の住宅に重い税を課す」提案を却下した。これは投資による住宅価格の高騰を防ぐためカハロン財務相らが提案したもの。
- 7日 イスラエルを代表する企業である灌漑技術大手ネタフィムの株式の80%を、メキシコ企業 Mexichem が15億ドルで購入。元株主パルミラ社は6年で倍の利益を得た。
- 7日 財務省によれば、イスラエルの物価は OECD 平均より高く、自動車や電気製品などの耐久財で52%、輸送サービスで30%、レストランやホテルで29%の差がある。
- 7日 カハロン財相、若者向け固定価格住宅を30,000戸に倍増すると発表。第一弾となる15,000戸の抽選結果は8月8日に発表され、9月15日までに次の抽選が開始。
- 7日 バイナリオプション禁止法案が国会の改革委員会で承認。本会議を経て、官報掲載後3カ月で発効へ。審議では企業代表が「詐欺事例は一部にすぎない」と述べた。
- 8日 水エネルギー省はカリッシュ・タニン天然ガス田の開発計画を公表。まずはカリッシュ、続いてタリングガス田が開発され、計55BCMの供給が2020年に開始される。
- 8日 インテルのモバイルAI買収が完了。共同創業者のジブ・アミラム CEO は辞任し、アムノン・シヨシユア CTO がインテル SVP を兼務して引き続き事業を継続する。
- 9日 政府は、スタートアップ ElectRoad 社と協力し、テルアビブ～エイラット間の電化道路建設を計画。電気バスは道路から非接触給電され、充電スタンドが不要に。
- 9日 格安航空 WizzAir 社、エイラットのウブダ空港からリガ（ラトビア）、カトワイス（ポーランド）、プラハ（チェコ）、ブカレスト（ルーマニア）への新路線を就航。

- 9日 通信大手パートナー社, キリヤットオノ市における光ファイバー網敷設計画を公表。これにより最大 1Gbps の通信が実現され, 市民に月 99NIS で提供される。
- 10日 TEVA の株価急落により, 同社の時価総額は 178 億ドルへ。チェックポイント社は現在時価総額 176 億ドルであり, TEVA を抜きイスラエル最大企業になる日も近い。
- 10日 オラクル社のアクセラレーターが国内 5 スタートアップを選定。3DSignals, Nsof Networks, Bonobo, Zoomin, Toonimo が, 6 カ月のメンタリング等を受ける。
- 10日 インテルは, モービルアイ買収を機に自動運転車開発を加速。国内及び欧米での試験向けの完全自動運転車 (レベル4) を, 年内に投入開始し, 100 台以上に増やす。
- 10日 イスラエルの投資ファンド Ayalim が, TEVA 株購入。セグブ CEO「TEVA はパニックの頂点にあり, 今が買い時。買収になれば最低でも今の 1.5 倍の値が付く」。
- 13日 フランスのスポーツ用品小売チェーン「デカトロン」が, イスラエルに初進出。価格競争力のある大型店の進出で, 寡占状態の同業界に競争がもたらされそう。
- 13日 テルアビブ証券取引所の民営化を, 現所有者が承認。ただし, ハポアリム銀行は棄権, ミズラヒ銀行は欠席した。今後, 裁判所の承認を経て, 取引所は民営化される。
- 13日 パンや卵, チーズなど 22 品目は, 政府の価格規制の対象となっているが, これを上回る価格で販売する規制違反が 2017 年度上半期に急増。食品店の 33%に上った。
- 14日 米ロッキードマーティン, イスラエル国防軍の物流センター調達(150 億 NIS 規模)への入札を検討中。同社は, 米国軍の物流センターを 80 億ドルで受託したばかり。
- 14日 コーヘン経産大臣は「レノボのオーナーがイスラエルへの投資を検討中」と発言。今後数年で, 地元企業買収に加え, 開発・製造拠点の設置を検討していると述べた。
- 15日 チェックポイント社が, ついに TEVA を超え, イスラエルで“最も価値ある企業”に。14日終値で時価総額は約 177 億ドル。TEVA は約 20 年保った 1 位の座を譲った。
- 16日 中国・イスラエルの合併自動車企業 Qoros が, 中国大手企業 4 者と戦略的パートナーシップを締結。今後 2 年で 3 万台の高級自動車を大型法人顧客向けに提供する。
- 17日 モービルアイは, ヘブライ大からの知財利用料に関する再交渉要求に対し「特許は社内開発で, 再交渉の余地はない」と返答。シヨシユア CEO は同大学を辞任した。
- 17日 ロンドン, ウィーン, パリ等 10 都市に続き, 年末に「テルアビブスタートアップガイド」が発刊される。市内のスタートアップや起業家から掲載希望を募り, 選定。
- 20日 イスラエル航空工業が, シンガポール・チャンギ空港用の手荷物積込ロボットシステム開発へ。手荷物処理の自動化により, 逸失や損傷が減り, 顧客体験が改善する。
- 20日 インテル社のクラズニク CEO がイスラエルを訪問。先日買収が完了したエルサレムのモービルアイ社, キリヤットガットの新工場, ハイファの開発センターを訪れた。
- 20日 電気料金が来年 1 月から 3%値下げに。現料金は政府指示に基づく電力公社の開発作業計画に要する費用を含むが, 新料金は発電コストのみを反映したものとなる。
- 21日 半導体大手タワーセミコン社, 中国に工場を新設。南京経済技術開発区のタコマセミコン社との合意に基づくもので, 同社から 1,800 万ドルの支払いを受けている。
- 21日 エルアル航空の整備労働者と経営陣との交渉が先週崩壊。労働者側は, 雇用条件が改善されなければ, ドリームライナー到着式典に影響を及ぼすと脅迫している。
- 21日 テルアビブ-エルサレム鉄道が初の試運転を実施。新路線はテルアビブからベングリオン空港まで 1 駅, エルサレムまでわずか 28 分。2018 年 4 月に運行開始予定。

- 22日 政府の大企業向け産業支援予算が 2.5~4 億 NIS になると見られ、数十億の支援を要望した産業界からは失望の声が上がっている。除外された中小企業側も怒りの声。
- 23日 エルアルの整備労働者は、ドリームライナー到着式典でのデモを静かに行うと約束。400 人ほどが参加予定。式典には約 2,400 人が招待され、総経費は約 67 万 NIS。
- 23日 財務省と政府企業庁は、政府系企業が政府承認不要でハイテク企業に投資できる仕組みを提案。全 17 の政府系企業にイノベーション部門を新設する。今後政府審査。
- 24日 フォルクスワーゲングループのスコダ自動車が、当地輸入事業者のチャンピオンモーターズと連携してイスラエルに新たな拠点を設置。新技術や投資機会を発掘する。
- 24日 日・イスラエル投資協定は、投資前から保護が始まる自由化型協定。イスラエル初の試みで、政府内には「他国の投資協定にも反映されてしまうのでは」と懸念も。
- 27日 国連グレーテス事務総長が、エルサレムのイスラエル美術館で行われたスタートアップイベントに参加。水技術、環境技術などを有するスタートアップ 4 社に会う。
- 27日 エルサレムライトレールで 2 番目の路線となるグリーンラインのインフラ整備の入札が開始された。同路線は全長 19km, 35 駅を有し、予算規模は 6,000 万 NIS。
- 27日 定年退職を自由化する議員立法が提出された。強制的な退職を廃止し、従業員が退職年齢を自由に選べるようにするもの。財務省は「若者の雇用機会を奪う」と反対。
- 28日 通信大手パートナー社とエリクソンイスラエル社は、通信省から国内初の LTE 音声通話サービスの承認を受けた。データ通信網の利用により、通話品質等が向上する。
- 28日 財務省の調査によれば、大学で技術を学ぶアラブ系イスラエル人は急増しているが、中退率は高く (59%, ユダヤ系は 32%), 卒業後の技術系就職率は依然低い (59%)。
- 29日 大型店舗で展開するスーパーマーケット Rami Levy が、小型食品スーパーの展開を開始。エルサレムに 1 店開設済みで、今後テルアビブ 2 店とハイファ 1 店が続く。
- 29日 仏スポーツ用品店デカトロンがイスラエル・リシオンレツィオンのモールに進出。3,000 平米に 16,000 品目が並ぶ大型店舗で、オープン初日には 6,000 人が訪れた。
- 29日 財務省と証券庁によるイスラエルハイテクファンドの公募締め切りが 1 カ月半延長され、10 月 19 日ㄨに。投資家らから検討時間がほしいとの要請が行われたもの。
- 29日 8 月のベングリオン利用者数は 250 万人で、昨年比 18% 増となる見通し。年間では過去最高の 2,000 万人に達するとみられる。主な要因は、低価格航空の利用者増。
- 30日 教師の 40-50% は就職後 4 年以内に離職。教師連合初の女性会長ベンダビッド氏は、教育省はインフラ整備に専念すべきで教え方に口を出すべきではないと強調する。
- 30日 9 月のガソリン価格、フルサービス店舗の価格は 8 月から変更なく、セルフサービスの価格は 0.06NIS 上昇してリッター 6.00NIS に。主な要因は世界的な油価上昇。
- 31日 格安カフェ Cofix が、ロシアに続きトルコに展開する。英国に子会社を登記し、イスラエルと同じ「ドリンク・フードを安い固定価格で」という形式で営業する。
- 31日 ハポアリム銀行系投資会社 IBI によれば、今は TEVA 株の買い時である。昨年承認された AUSTED 薬の売上は 5-20 億ドルと見られ、Copaxone 売上の 2/3 に相当。
- 31日 イスラエル鉄道の上半期の利用者数は 3,150 万人。1 日あたり 23 万 9 千人 (昨年同期比 12% 増) で、テルアビブ-エルサレム間の利用増 (26%) が最も大きかった。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

- 第2四半期の経済成長率 2.7%。第1四半期よりは上昇したがまだ低い。

中央統計局は、イスラエルの第2四半期の経済成長率は2.7%であったと発表した。

これは、新車販売が伸び悩んだ第1四半期(修正値0.6%)と比べると改善して

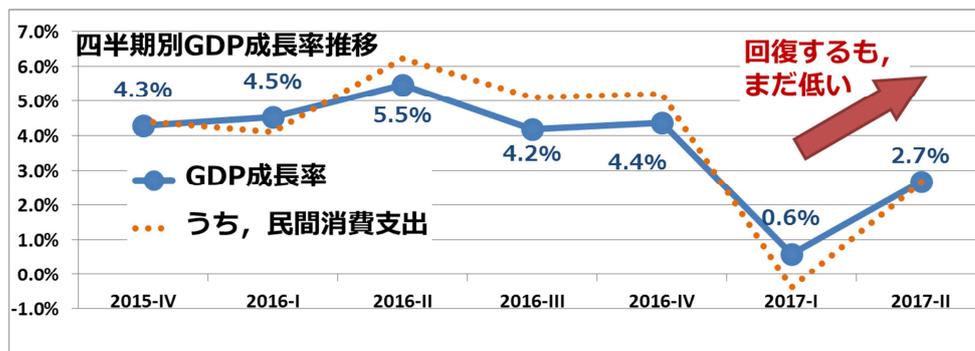
いるものの、2016年度第4四半期の4.4%を大きく下回る数字であった。

2017年上半期の成長率は2.1%で、2016年の第1四半期4.7%、第2四半期4.6%と比べると伸びが低迷している。

2017年第2四半期には、個人消費が6.5%増加し、固定資産への投資が5.2%増加した。一方で、財・サービスの輸出は年率換算で8.8%低下している。なお、これらの数字はいずれも一次推定値であり、今後改定される可能性が高い。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-israeli-economy-grew-at-27-in-q2-1001201474>)

グラフ出典：中央統計局発表値 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/tables_template_eng.html?hoda=201708241) より当館作成



2. 消費者物価指数 (CPI)

- 7月期のCPIは予想外に減少。住宅価格は上昇中。

2017年7月期の消費者物価指数は0.1%低下した。事前の市場予想では0.1%上昇とされていたところ、予想外の低下である。6月にはCPIが想定範囲外の0.7%下落したばかり。

ここ数か月間で、インフレ率はマイナス値に転じ、7月までの12カ月の平均はマイナス0.7%となった。わずか4カ月前には、インフレ率は0.9%を維持しており、政府目標の1~3%に近付いていた。

低下したものの例は、生野菜・果物(2%減)、医療・靴(8.1%減)、家具・家電(0.9%減)などである。住宅価格は上昇しており、5-6月期

の住宅価格は前月比では0.1%しか上昇していないが、昨年比では4.5%上昇している。ただし、2017年第1四半期の平均アパート価格は143万NISで前年同期比3.8%低下している。これは、郊外における住宅販売が増えたことで、同一の住宅の価格は上昇しているにも関わらず、売りに出ているアパートの価格平均を見ると、あたかも減少しているかのように見える現象が起きているものと見られる。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-cpi-unexpectedly-fell-in-july-home-prices-rising-1001201411>)

グラフ出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201710240)



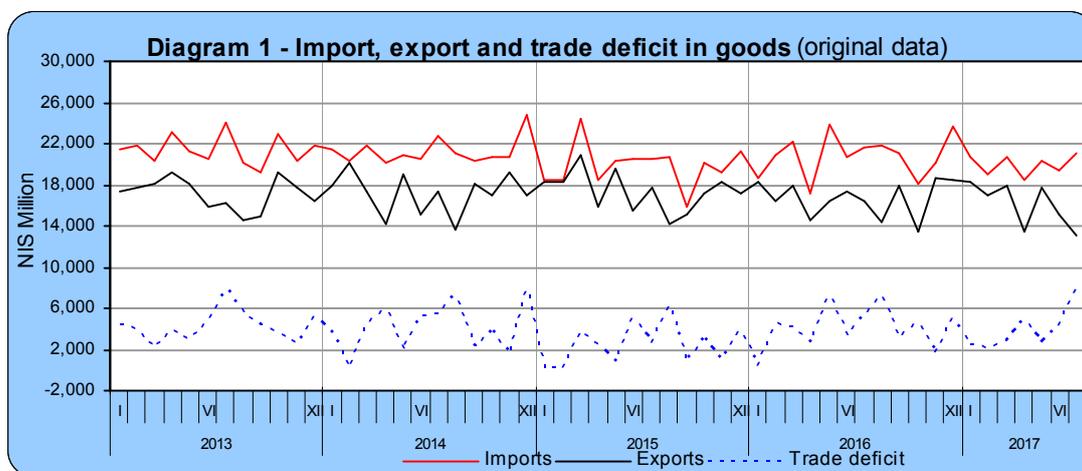
3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

● 2017年7月期の貿易赤字 (物品のみ) は80億シエケル

中央統計局の発表によれば、2017年7月期の物品輸入は210億NIS、物品輸出は130億NISであり、貿易赤字は80億NISとなった。

物品輸入は直前3カ月間で年率0.5%減少した。輸入の42%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、21%が消費者製品、20%が機械、装置、産業機械であった。残り17%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出は直前3カ月間で年率9.9%減少した。鉱工業製品の輸出が全体の89%を占め、10%がダイヤモンド、1%が農林水産品であった。工業製品輸出に占めるハイテク製品の割合は、直前3カ月間で1.5%上昇し、47%となった。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

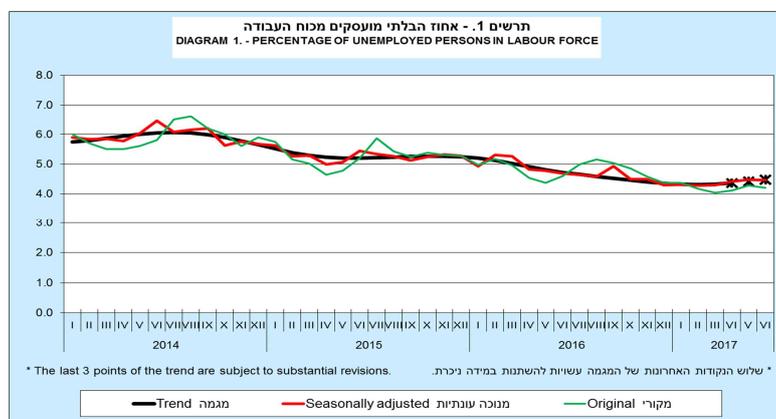
出典 : イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201716232)

4. 失業率推移 (UNEMPLOYMENT RATE)

● 2017年7月期の失業率平均は4.1%に減少

中央統計局は、2017年7月期の失業率は4.1%であり、2017年6月期の4.3%（修正値）から減少したと発表した。性別で見ると男性は4.0%（前月比0.2%減）、女性は4.2%（前月比0.3%減）となった。

15才以上人口における労働人口は400.0万人、うち被雇用者数は383.6万人（男性203.1万人、女性180.5万人）となった。労働参加率は64.1%で、前月（修正値）から0.1%増。



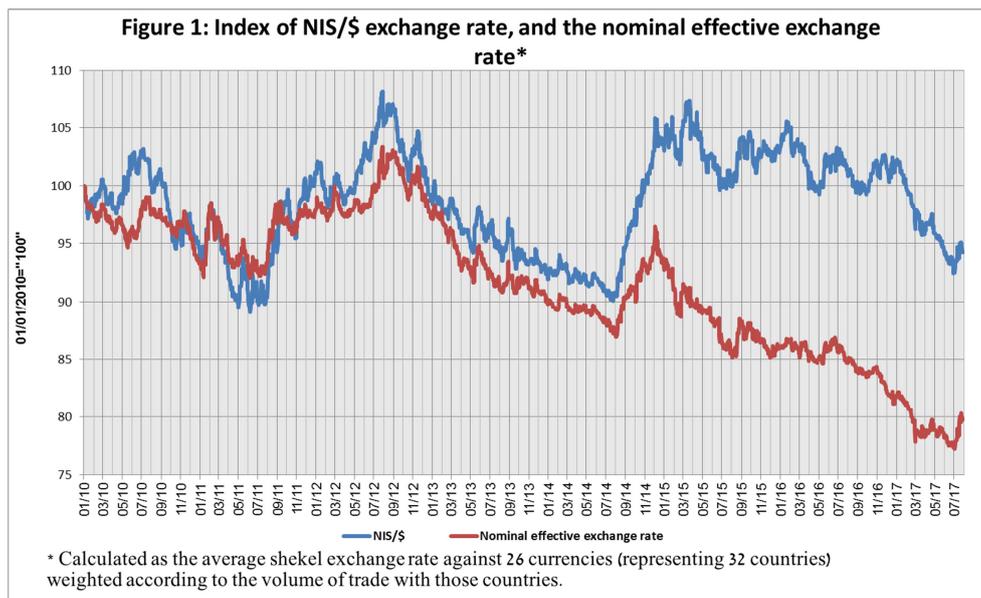
出典 : イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201720248)

5. 為替推移

- シェケルは対ドル、対ユーロとも下げ。ドルは世界的に下落。

2017年7月期、シェケルは対ドルで約1.8%安、対ユーロで約4.7%安となった。イスラエルの主要貿易相手国に対する実効為替レート（貿易加重平均）は、約3.1%安となった。世界的には、7月期には主要通貨に対してドルは弱まる傾向にあり、対ユーロ2.8%安、対英ポンド1.0%安、対日本円1.2%安。他方、対スイスフランでは1.1%高となった。

為替市場全体の取引量は約1,540億ドル、1日あたり取引量は約73億ドル（前月比3%増）となった。



（※—：シェケル/ドル相場，—：実効為替レート）

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/8-8-17.aspx>)

6. 公定歩合（INTEREST RATE）

8月29日、中央銀行は、9-10月の公定歩合を引き続き0.1%で維持すると発表した。2015年5月以来、歴史的な低さが続く。

中央銀行は、据置き理由について、インフレ率を目標範囲に確保するまでは、必要な限り長期的な調整政策を維持するとしている。インフレ目標は1-3%であるが、直近12カ月の平均はこれを0.7%下回っている。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/29-8-17.aspx>)

※改訂は年8回。今後、年内の改訂発表日は、10月19日、11月27日。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/10-7-17Interestrate.aspx>)

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

- **イスラエルの外貨準備高, 1,101 億ドルを突破。**

中央銀行による7日の発表によれば, 2017年7月末時点の外貨準備高は, 前月比14.5億ドル増加し, 過去最高を更新する1,101億ドルに到達した。現在, 外貨準備高はGDPの33.8%を占める。イスラエルの外貨準備は, 12カ月には974億ドルであった。

中央銀行による外貨購入はわずか1.50億ドルで, 全てが天然ガス生産による為替への影響を相殺するための購入プログラムによるものであった。今月の増加の大部分は, 再評価による準備金総額の上方修正が13.29億ドルに及んだことによるもの。なお, 政府移転4,100万ドル及び民間移転3,300万ドルにより, 増加幅は減少した。

出典: イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/ForexReserves-7-8-17.aspx>)

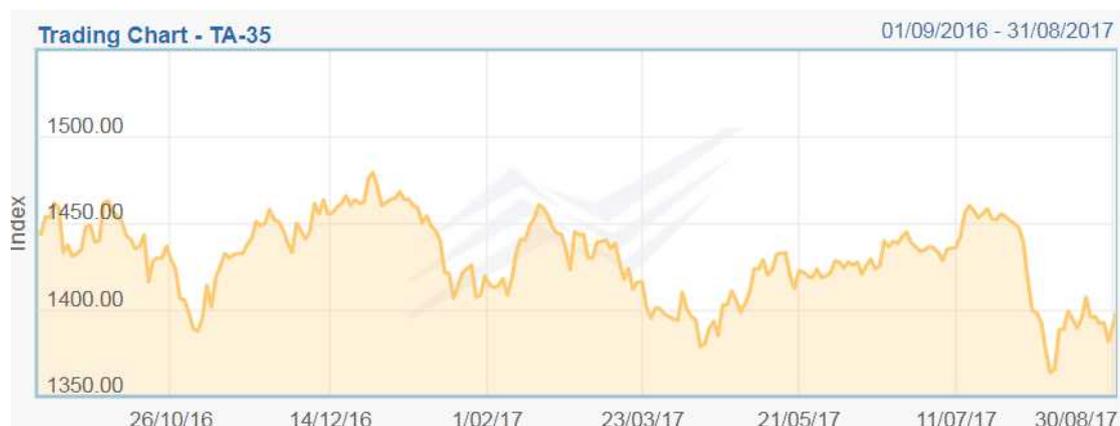
8. 主要株価推移 (TA35)

10日, テルアビブ証券取引所 (TASE) は, 新たな指数「Tel-Bond Maturity Index」を6種類発表。設立0-3年, 3-5年, 5-15年など, 成熟度に応じて分類された企業が含まれている。年明け以降, TASEが発表した指数は計10種類。

月間推移



年間推移



出典: テルアビブ証券取引所 (<http://www.tase.co.il/eng/pages/homepage.aspx>)

日本-イスラエル 経済関係

(出典：各社等発表，報道)

ルノー・日産，イスラエルにインキュベーションセンター（8日）

ルノー・日産アライアンスは、スマートカーや交通シェア技術を開発する若い企業向けのインキュベーターとして、テルアビブに技術イノベーション研究所を新設する。同社を含め、イスラエルイノベーションオーソリティの入札で選ばれた企業には、インキュベーターの開設にあたり実証段階で最大100万NISが支給される。

近年、自動車メーカーやサプライヤーの進出が相次いでおり、現在、GM、ダイムラー、ボルボ、ホンダ、上海汽車がイスラエルで研究開発及び投資拠点を運営している。ルノー・日産の進出はこの流れに続くものである。

出典：グローブス紙報道 (<http://www.globes.co.il/en/article-renault-nissan-to-open-israel-smart-car-lab-1001200494>, <http://www.globes.co.il/en/article-innovation-authority-selects-tech-innovation-labs-operators-1001201186>)

デンソー，車両安全システムにタワージャズ社技術を採用（14日）

株式会社デンソー（本社：愛知県刈谷市、社長：有馬 浩二）は、後側方の車両を検知し車両の安全システムに寄与する車載レーダーを開発した。レーダーには、イスラエル発企業タワージャズ社（※）製のウェハを用いた集積回路が搭載されており、これにより車両の進行方向に合わせた検知方向・範囲の切り替えが可能となっている。

※「タワージャズ」は、イスラエルのタワーセミコンダクター社及びその米国子会社共同で用いるブランド名（参照：タワージャズ社ウェブサイト <http://www.towerjazz.com/overview.html>）

開発されたレーダーは、2017年7月に発売された「トヨタ カムリ」に搭載されている。車両のリアバンパー内に搭載され、走行中にドライバーの死角となりやすい後側方走行車両や、後退時に左右後方から接近してくる車両を検知する。これにより、車線変更時に隣接車線を走行する車両の存在を通知するシステム、駐車場からの後退時に、右または左後方から接近してくる車両の存在をドライバーに注意喚起、および衝突の危険性がある場合は自動ブレーキ制御を行うシステムの実現に貢献する。

出典：デンソー社プレスリリース (<https://www.denso.com/jp/ja/news/news-releases/2017/20170810-01/>)

JST とイスラエル科学技術省，共同研究課題を募集中（再掲）

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)の一環として、イスラエル科学技術省(MOST)との間で、「レジリエントな社会のためのICT」に関する共同研究支援の第3期目の公募を開始。日本-イスラエルの研究者による共同研究課題を募集する。

日本側研究者は提案を JST に申請し、イスラエル側研究者は提案を MOST に申請。詳しくは公募要領 (<http://www.jst.go.jp/inter/sicorp/download/is7th/Israel2017.pdf>) を参照のこと。(日本側研究者に合わせ、イスラエル側研究者から MOST に同様の提案申請がなされない場合は、審査の対象とならない。)

募集期間：平成 29 年 7 月 31 日 (月) ～同年 10 月 16 日 (月) 午後 5 時 (日本時間)

出典：JST ウェブサイト (http://www.jst.go.jp/inter/sicorp/announce_is7th.html)

ダイドー、イスラエル大手スーパーの PB 缶コーラ製造 (30 日)

イスラエルの大手スーパーマーケットチェーンであるシュフェーサル (Shufersal) が、新たなプライベートブランドとして缶コーラを売り出す。250 ミリリットル缶の無糖ダイエットコーラが 2.40NIS と、主要ブランドに比べ 30% 安い価格設定だ。発売記念セールでは、特別価格として 5 缶 10NIS で販売される。

シュフェーサルの缶コーラは、日本の老舗企業ダイドードリンコの協力によって製造される。ダイドードリンコは、1975 年に設立され、飲料品の開発・製造・販売を手掛ける。製造は、トルコ所在のデラ・ギダ工場にて行われる予定。

出典：グローブス紙報道 (<http://www.globes.co.il/en/article-shufersal-also-launches-private-label-cola-in-cans-1001203130>)

展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

スタートアップ DLD TEL AVIV（9月3～7日、テルアビブ）

スタートアップの祭典。多数の技術系スタートアップに加え、ベンチャーキャピタルや、多国籍企業のR&Dセンター、海外企業等が来訪する。ハイテク分野での国際会議・展示会。街全体を巻き込んだスタートアップ展示やミートアップイベントなどが開催される。

<http://www.dldtelaviv.com/>

医療 MHEALTH ISRAEL（9月11～15日、エルサレム等各地）

イスラエル最大のデジタルヘルスに関する年次国際会議。9月14日にエルサレムでメイン会議が行われる他、ナザレ、ハイファ、ベエルシェバ、テルアビブ、ラアナナなど国内各地で関連イベントが行われる。

<https://www.mhealthisrael.com/>

テロ対策 ICT WORLD SUMMIT（9月11～14日、ヘルツェリア）

IDCヘルツェリア大学の国際カウンターテロリズム研究所が開催する、カウンターテロリズムに関する年次国際会議。11～12日にプレナリーセッションが、13～14日にワークショップが開催される。

<https://sites.google.com/ict.org.il/worldsummit17/>

水技術 WATEC 2017（9月12～14日、テルアビブ）

水・環境技術に関する国際展示会。水・エネルギー・環境分野の企業が主として参加し、新たなビジネスパートナーや投資家等を見つける機会となる。水技術に関するカンファレンスや専門家パネル等のイベントも多数併催される。

<http://watec-israel.com/>

スポーツ技術 APCST（10月15～19日、テルアビブ）

スポーツテクノロジーに関するアジア太平洋会議。科学者、起業家、産業界の代表を対象とし、21世紀のスポーツと関連技術についての新たなソリューションに関する議論の場を提供。対象は、軍の兵士からオリンピック選手まで幅広い。

<http://apcstcon.com/>

セキュリティ NEXTECH 2017 (10月18日, ベエルシェバ)

南部都市ベエルシェバにて開催される次世代技術の展示会。イスラエルのサイバーセキュリティ技術の開発拠点となるベエルシェバの地で、ベングリオン大学や国防軍、関連企業などで生み出される最新技術がお披露目される。

<http://www.nextech-conference.com/>

医療 CAST (10月22~23日, テルアビブ)

脳卒中治療のための包括的アプローチ (Comprehensive Approaches in Stroke Treatment) についての学会。

<http://cast-meeting.com/>

医療機器 IDAN (10月24~26日, テルアビブ)

歯科産業に関する展示会。医療機関や研究機関が、歯科に関する装置について学ぶとともに、適正価格で購入が可能。

<http://www.dentalshow.net/>

医療 RCINGSCM (10月31日~11月1日, ヘルツェリア)

臨床マイクロラボにおける次世代シーケンシングの地域的能力構築に関する、3日間の国際ワークショップ。

<http://congress.co.il/ESGMD-NGS-workshop/>

産業技術 TECHNOLOGY2017 (10月31日~11月2日, テルアビブ)

産業技術分野の国際展示会。第24回を迎え、イスラエルにおける同種の展示会の中でも最大級である。今年は15,000人の来場が見込まれる。展示会と共に、セミナーやB2Bミーティングも開催。

<http://www.fairs.co.il/en/tech/>

環境 DDD 2017 (11月6-9日, ベエルシェバ)

乾燥地、砂漠、砂漠化に関する、隔年開催の国際会議。ネゲブ・ベングリオン大学の砂漠研究所にて行われる。今年のテーマは「砂漠化及び乾燥地管理との闘いー理論と実践」。

<http://in.bgu.ac.il/en/desertification/Pages/default.aspx>

医療 イスラエル麻酔学会国際会議 (11月7~8日, テルアビブ)

3年ごとに行われるイスラエル麻酔学会の国際学会。欧州麻酔学会の年次会議も併催される。今回のテーマは「現代における麻酔：いつでも、どこでも」。

<http://icisa2017meeting.com/>

無人機 UVID 2017 (11月9日, エアポート・シティ)

遠隔無人運転 (Remote Unmanned Vehicle) に関する国際会議。例年 20 カ国以上から約 1,500 人が参加している。昨年のテーマは「On the Brink: Remote Unmanned Vehicles Entry into the 3rd Generation」。

<http://uvid2016.israeldefense.co.il/> (昨年情報)

<http://conferencesandexhibitions.israeldefense.co.il/idf-smartforms/node/253> (2017年のウェブサイトは未公開のため、今後情報配信を希望する場合は上記より登録)

空調設備 ACLIMA (11月7~9日, テルアビブ)

空調, 冷蔵, 暖房, 換気設備, 及びエネルギー効率に関する国際展示会。2年に一度開催。

http://www.stier.co.il/ACLIMA/index_en.asp

家具 TIMBER 2017 (11月21~23日, テルアビブ)

木工家具の展示会。イスラエル企業約 300 社に加え、前回は 18 カ国から出展があった。木工家具製造のコンピュータ化なども反映されている。

<https://www.itex.co.il/sblisraelEN.aspx>

食・サービス FOOD & HOSPITALITY WEEK (11月28~30日, テルアビブ)

食産業・サービス産業に関するイベントを集中的に実施する「フード&ホスピタリティウィーク」の一環として、食品・飲料品の国際展示会「ISRAFOOD」、サービス業の設備に関する国際展示会「HOTEX」、キッチン・レストラン用品を扱う「KITEX」、製菓・製パン業関連製品を扱う「Bake-Cake」が開催される。

http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index_en.asp

http://www.stier.co.il/HOTEX/index_en.asp

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/bake-cake/>

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/kitex/>

ライフサイエンス ヘルスケア技術革新 (12月3~6日)

テルアビブ大学経営大学院と IATI が共催する、エグゼクティブ向け教育プログラム。ライフサイエンス産業を牽引する指導者層を作りだすことを目的としており、今年で 11 回目の開催。今年のテーマは「ヘルスケア技術革新 - アイデアから商業化へ」。

<http://biomedmanagement.tau.ac.il/>

医療 ICI 2017（12月3～5日，テルアビブ）

心血管系（心臓，脳及びその周辺）におけるイノベーションと，ライフサイエンス分野のハイテク産業に関する国際会議。中国と協力した「Wall-to-Wall- East Meet West」セッションが設けられる。

<http://2017.icimeeting.com/>

都市 MUNI EXPO（2018年2月13～14日，テルアビブ）

イスラエルの地方自治体連合の年次イベント。イスラエルの257の地方自治体の幹部や，地方所在企業などが参加する。イスラエルの国内外のサプライヤーや地方企業などが一同に介し，ビジネスの出会いの場を得る。今年のテーマは「イノベーションとスマートシティ」。

<http://www.muniexpo.co.il/%D7%9E%D7%95%D7%A0%D7%99-%D7%90%D7%A7%D7%A1%D7%A4%D7%95muni-expo-5/>

医療 国際 ADHD 会議（2018年3月19～21日，テルアビブ）

慢性障害 ADHD に関し，その症状や臨床，診断，治療などを取り上げる国際学会。

<http://2018.adhdcongress.co.il/>